

身近な生薬シリーズ その4

生薬とは植物を中心に、動物や鉱物をふくめ、天然のものから作られた薬です。中国薬物研究所などがまとめたところによると、生薬の種類は葉草類が278種、動物類52種、昆虫類18種、鉱物類36種の合計394種です。漢方薬がなぜ効果的か？それは漢方薬の原料であるこの「生薬」に秘密があります。

白朮(ビャクジュツ)

白朮はキク科のオケラ又はオオバナオケラの根茎です。主な成分としてアトラクチロンやジアセチルアトラクチロジオールなどで、漢方では、体内の水分の動きを正常に調節する働きがあり、健胃、整腸、止汗、利尿などの目的で使用されます。また、御屠蘇(おとそ)の原料としても知られています。御屠蘇とは数種類の生薬が配合された屠蘇散を酒やみりんに浸けこんだ薬酒です。正月に飲めば、年中の邪気を払い、福寿を招くと言われています。御屠蘇に用いられる白朮は、正月になくてはならない生薬ではないでしょうか。



あけましておめでとうございます

今年もよろしくお願いいたします

くすの木薬局職員一同



長期実務実習終了のお礼

くすの木薬局では2011年9月5日から11月18日まで崇城大学薬学部薬学生長期実務実習の受け入れを行いました。今期は学生2名で実施し、皆様のご協力を得まして無事終了することが出来ました。ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

新入職員紹介

趣味は映画鑑賞です。特にパイレーツオブカリビアンが好きです。よろしくお願いたします。

11月から薬剤師として勤務しています。ひまわり薬局 網走 智織です。



2011年日本平和大会 in 沖縄に参加して

11月25日～27日の3日間、平和大会に参加してきました。現在、注目を集めている住宅地に囲まれた普天間米軍基地や第二次世界大戦時の戦跡など多くものを見ることができました。その中で人を殺めてしまう戦争、それを可能する基地も放棄すべきと強く感じました。やはり、人は不安より安心を、喪失より誕生を希求すると思います。ごくごく自然な願いだとは思いますが、そのためにも基地や兵器よりも、教育や医療・福祉などを充実させた日本であってほしいと思いました。 ひまわり薬局 坂本泰浩



ACCESS MAP



福祉用具貸与事業所ひまわり

私たちは、利用者様の「介護幸せ配達人です！」
福祉用具貸与事業所の仕事は、自宅で介護が必要になった方の住環境と一緒に考えることです。お客様にとって身近な事業所になれるよう、日々努力しています。2012年もよろしくお願いたします。
福祉用具販売、レンタル、住宅改修工事等何でもご相談下さい。
(株)健康共同ファルマ 福祉用具貸与事業所 ひまわり
熊本市神水1-21-16 電話(096-387-5211) FAX(096-387-5323)
Eメール:okamoto@kk-pharma.jp 岡本 修

開局時間

曜日	時間
月～金	午前9時～午後6時00分
水	午前9時～午後7時30分
土	午前9時～午後1時00分
日・祝	休業

携帯で簡単登録

住所や電話番号の情報が載っているQRコードです。

くすの木薬局情報



くすの木薬局だより

発行所/くすの木薬局
〒861-8006 熊本市龍田5丁目1番43号
TEL096(337)5600 FAX096(339)9590
発行責任者/山田 泰弘
HPアドレス/http://www.kk-pharma.jp/



2012 No.40

新春号



あけましておめでとうございます

昨年3月11日未曾有の東日本大震災が起き、自然の脅威の凄まじさを見せつけられました。被災された方々にお見舞いを申し上げますと共に亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表します。さらに追い討ちをかけるように、福島原子力発電の放射能漏れ事故が起きました。まだまだ完全な復興は程遠い状況です。東北、福島の被災者の方々が一日も早く安心して暮らせる被害対策が立てられる事を願います。震災直後の3月と4月に、私共の職員の薬剤師2名が、被災した宮城県民医連の薬局に支援に行きました。その後も支援の薬品を送ったり義捐金を集めたりして、微力ながら復興に向けたお手伝いをして参りましたが、今後も、様々な形で復興の支援にかかわっていきたく思っております。



代表取締役 鳴海 真弓

さて、今回の福島の原子力発電の事故が起きて初めて原発がどんなに危険なのかよく分かりました。「原子力の平和利用」という安全神話に知らず知らずのうちに自分が洗脳されていたんですね。日本にいつのまにか54基の原発が出来ていた事を「知らなかったでは済まされない」という現実打ちのめされた気がします。核兵器と原発は一体のもので、どちらも人類とは共存できないと知りました。

ドイツ政府は昨年の6月に原子力からの撤退を決定しました。その背景には子どもを持つ女性たちが中心となった反原発の粘り強い闘いがありました。1986年のチェルノブイリ原発の事故以降新しくできた女性団体を中心に食品の放射能測定をし、原発周辺の子供たちに白血病が多いことを告発し、福島の事故以降は毎週月曜日に反原発の集会を開きました。また20の都市で「原子力からの即時撤退」を求める大規模なデモが行われ25万人が集いました。参加者の多くは子どもを持つ女性たちだったそうです。

これから日本も被災地の瓦礫処理問題や放射能による健康被害の追跡調査など解決しなければいけない課題が山積しています。私たち一人一人が自分自身の事と捉えて取り組んでいかなければならないと思います。日本も早くドイツのように原子力からの撤退を実現したいものです。国民の合意を作っていくのは簡単ではありませんが、「子どもたちに安心して暮らせる未来を残すために」きっとその事では、日本国民が一つになれるのではないのでしょうか。

今年は、健康共同ファルマが、創立20周年を迎えます。これも、ひとえにご利用頂いている皆様のおかげでございます。そして初めての薬学部6年制の新卒薬剤師を迎えます。

新しい仲間と一緒に、いっそう努力してご期待に応えられる薬局活動を模索してまいります。本年もよろしくお願いいたします。

